建設のあゆみ

【完　成】

道路排水整備工事
- 町道横芝10号線…… 302.0m
- 町道横芝21号線…… 110.0m

道路改良工事
- 町道栗山区内線……98.5m
- 町道取立～寺方線…… 400.0m

共同利用施設建設工事
- 横芝町栗山（第二種）…… 127.0㎡

テニスコート新設工事
- 町民広場内…… 2面

ゲートボール場新設工事
- 町民広場内…… 1面

町民広場内のテニスコート

【着　工】

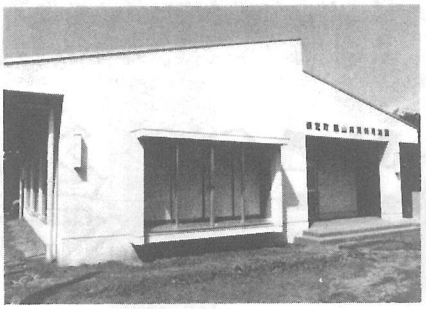
道路排水整備工事
- 町道栗山区内線…… 220.5m
- 町道屋形5号線…… 136.0m
- 町道古川32号線…… 96.0m
- 町道長倉区内線…… 47.5m
- 町道取立1号線…… 62.5m

道路排水・フェンス改修工事
- 横芝小学校…… 161.1m

フェンス新設工事
- 横芝中学校……64.0m

道路舗装補修工事
- 町道横芝10号線…… 319.5m
- 町道栗山区内線…… 220.5m

道路舗装新設工事
- 町道横芝21号線…… 212.3m
- 町道屋形23号線…… 96.0m
- 町道栗山区内線…… 161,0m



栗山に完成した共同利用施設

横芝俳壇

横芝句会七月例会

土屋　栗水

夏痩て老班の腕吊り皮に　成田　慄子

青墨や腰やわらかき梅雨の筆　宇井　芝童

失せものの無念尾を曳き半夏生　藤代　ゆう

土用蜆隅に置かれて売られけり　鈴木　要

通ひ妻らしき噂や日傘覆う　鈴木　南知

大胆に鏡の前に夏が来る　津田　若菜

夏痩せて食の好みも変りけり　若梅あやめ

投げ出したような形の昼寝かな　池田　和代

難聴の母へ筆談韮の花　海保恵保子

夏痩せもわが事となり年かなし　住母家千夫

夏痩の性とて気にも止めざりし　斉藤つね子

枯れゆくままに術なくゐたり　北田　ふじ

赤い鳥買ひてくれにし姉は今　かさり音たて骨壺に入る　鈴木　サツ

ただ一人植える田植のはかどらず　薄暮となりし畦道帰る　宇井　勇

水といふ命の糧の一しづを　尊み老ゆる灯台守りし吾は　土屋　栗水

み仏の光背を思ひ日の暑を　空に仰げり妻亡き吾は　斉藤つね子

オートバイのサドルの霜を拭きやりて二浪となる教子を深夜に帰す　斉藤　寛次

若き日の思い出話つきぬまま　夜は更けゆく潮騒の宿に　海保　きみ

はるかなる峰に雲立ち夏山の　峠に白く卯の花咲けり

横芝短歌

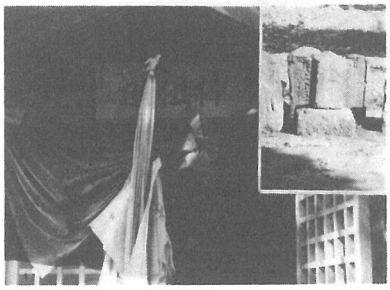
伊藤　美穂

逝く夫が吾に向けたる眼指しを　また思ひをり夜の静もり　向後まさ子

引き上げ後亡き夫と植えし松林

言い回しなどから、くなどの神、塞（さい）の神、賽（さえ）の神、道祖（陸）神等と、いくつかの名称で呼ばれてきたこともありますし、元来、いざなぎの尊が黄泉（よみ）の国を訪れたという故事に因んで想像された男女想愛と、生命の保存を意味する、きわめて素朴な姿が本尊の図柄であったのですが、明治新政府の、風俗是正という指導方針から、山間へき地を除いては、道祖神の三文字を刻んだものだけが残っているのです。

それに、道祖神信仰は、為政者等の庇（ひ）護によって育ったものではなかったので、政府の指導という名の圧力の下では、次第に密（ひそ）かな信仰として大衆の中に生き続けましたが、地域がこぞって祭りを行うということは次第に少なくなってきたためであろうと思います。



それでも、正月十四日を〝道祖神様の日〟〝さえ（さい）の神の日〟として正月用の飾り物（門松や主連飾り等）を、道祖神様の祠（ほこら）の前で焼く、いわゆる〝ドンド焼き〟〝さえ（さい）のかがり火〟などの行事は、どこの道祖神様でも行われていました。しかし、道祖神様の周辺に住宅などが建ち並び、火災防止の点からも、そうした民族的行事は失われつつあるようです。

○　写真の祠の中には、数十体の駒形をした道祖神の雛型が奉納されています。右上の写真は他の石像群の中に祭られた道祖神（中央は台座）で、すぐ後ろには八（はい）余りの舗装道路があります。石像群との雑居は開発の犠牲でしょうか。まとめ編のため案内図は省略しました。

横芝町文化財審議会委員　小沢春光さん寄稿